

くらし部通信5号



くらし部での話し合いをお知らせしていきたいと思ます。

1, 児童の様子

2学期が始まり1か月経つが、全体的に子どもたちは落ち着いて毎日を過ごすことができている。学校生活にしんどさを感じている児童には、本人の納得感を大切にしながら、丁寧に対応していくと共通理解した。

2, コロナ対策について

「てまきずしカフェ」「黙食」は継続して取り組んでいる。これから体育発表会の練習も多くなり、忙しくなるがコロナ対策がいいかげんにならないよう、練習でも一人ひとりが「両手間隔」を意識させ、消毒手洗い等の基本的な予防対策を徹底継続できるようにしていく。



※グループ活動の際には、フェイスシールドの着用も継続していく。

3, 生活リズム点検表の結果から・・・

○こころのまどについて

課題として上がったのは、「こころのまど」の「いらいらすることがありますか。」「じぶんのごとは好きですか。」「まいにちたのしいですか。」の項目を全て「いいえ」と答えている児童がいることである。そのような児童は担任だけでなく、全教職員で共通理解し気にかけていく必要がある。

○スクリーンタイムについて

スクリーンタイムが毎日3時間以上の児童がどのクラスにも半数近くいることが課題として上がった。以前に竜王町の講演会でも来ていただいた川島隆太先生からも、スクリーンタイムが増えることは、学力や生活に多大な影響を及ぼすとの話をいただいているので、当面の本校の重要課題としてとらえ、スクリーンタイムについても指導をしていきたい。



4, そうじについて

そうじについては全校的に目的を持って、取り組もうとする児童が増えてきているが、まだ、ほうきの使い方、ちりどりの使い方など道具をうまく使えない児童がいる。そのような児童には、「そうじをなささい。」という指導でなく使い方を丁寧に教えて、きれいになった気持ちよさを感じさせ、またがんばったことに対してきちんとほめていくことで意欲を高めることが必要である。ほうきやちりとり、道具を正しく使えるように全校で共通してサポートしていく。